

転入出者アンケート調査の結果報告

平成 30 年 6 月

政策企画課

1. 調査目的

交野市が移住・定住の促進策を検討するにあたり、転入者および転出者がどのような実態で移動しているのかを明らかにするために実施した。

2. 調査設計

(1) 実施期間

平成 30 年 3 月 1 日（木）～同 5 月 11 日（金）の開庁日

(2) 対象者

上記期間に市民課または星田出張所に転入出の手続きに来た人

※ 1 世帯あたり代表 1 人を基本とした。

(3) 調査方法

対象者に、窓口でアンケート調査票へ記入してもらう方法による

※ただし調査票を持ち帰り郵送で回答することも可とした。

(4) 回答者数

① 転入者アンケート

： 309 人 [調査期間における転入届出数：541 件 回答率：57.1%]

② 転出者アンケート

： 468 人 [調査期間における転出届出数：630 件 回答率：74.3%]

(5) 調査項目

- ・対象者の属性
- ・転入または転出のきっかけ
- ・転居先を選んだ理由 等

詳細は「3. 結果の概要」に記載

3. 結果の概要

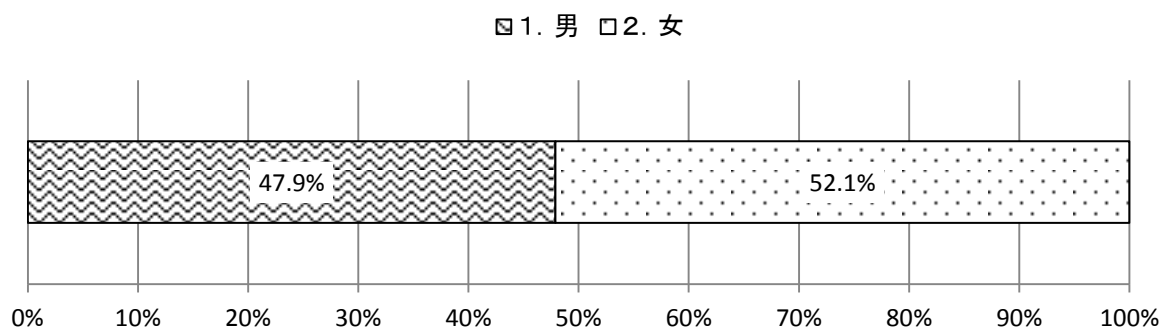
(1) 転入者アンケート

➤ 下記の2つに該当する人を「子育て世帯」とし、個別集計を行った。

- ◇ 20歳代～40歳代
- ◇ 転入後の世帯に中学生以下の子がいる

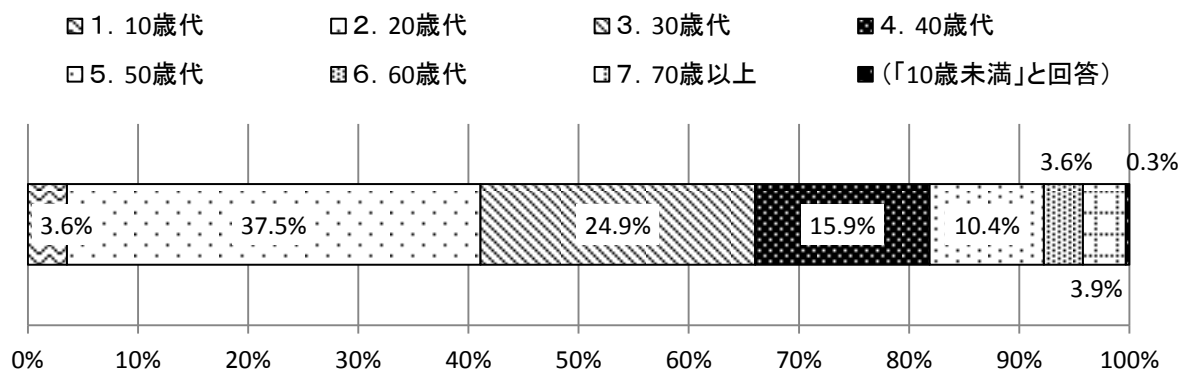
➤ 回答者数 【全体】 309人 【子育て世帯】 65人

問1. あなたの性別



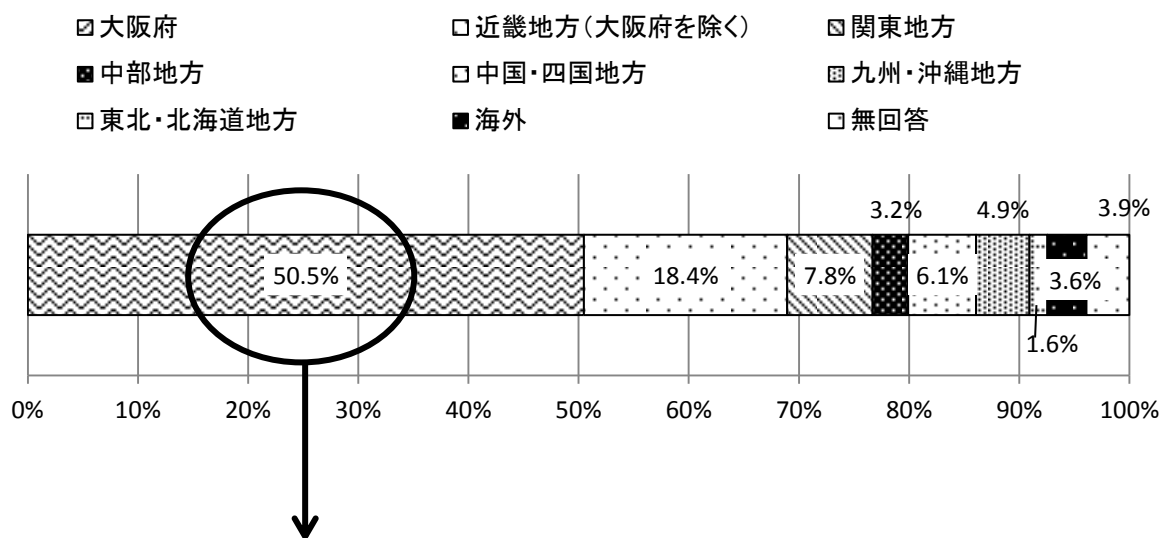
問2. あなたのご年齢

➤ 年齢は20歳代（37.5%）が一番多く、次いで30歳代（24.9%）が多い。

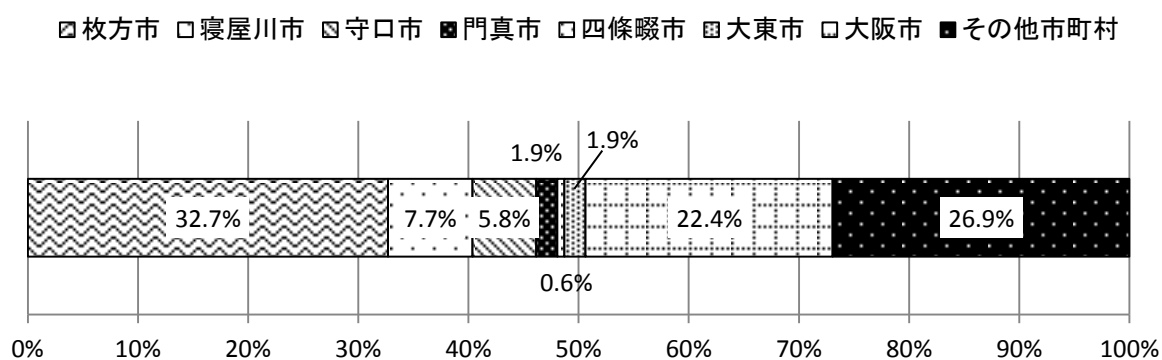


問3. 転入前はどちらにお住まいでしたか。

➤ 大阪府内からの転入が半数を占め（50.5%）、うち半数は北河内地域（府内の 50.6%）からの転入となっている。



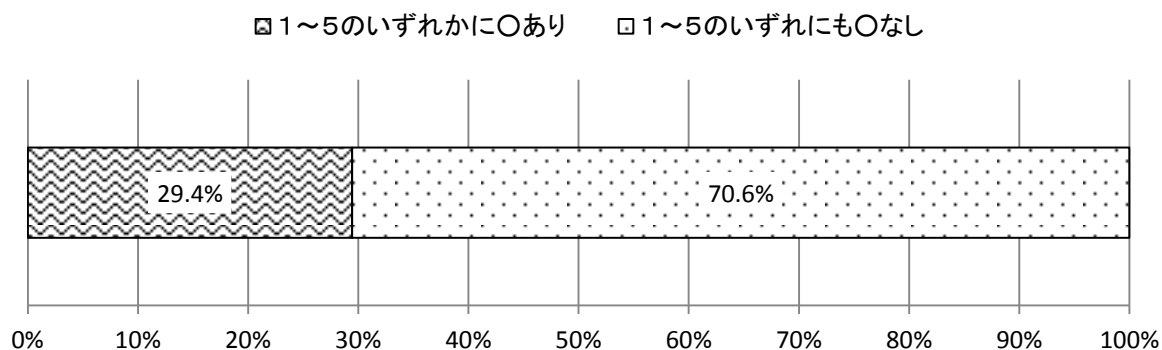
【大阪府の内訳】



問 4. 転入後の世帯に次の方がいらっしゃる場合は、あてはまるもの全てに○をしてください。

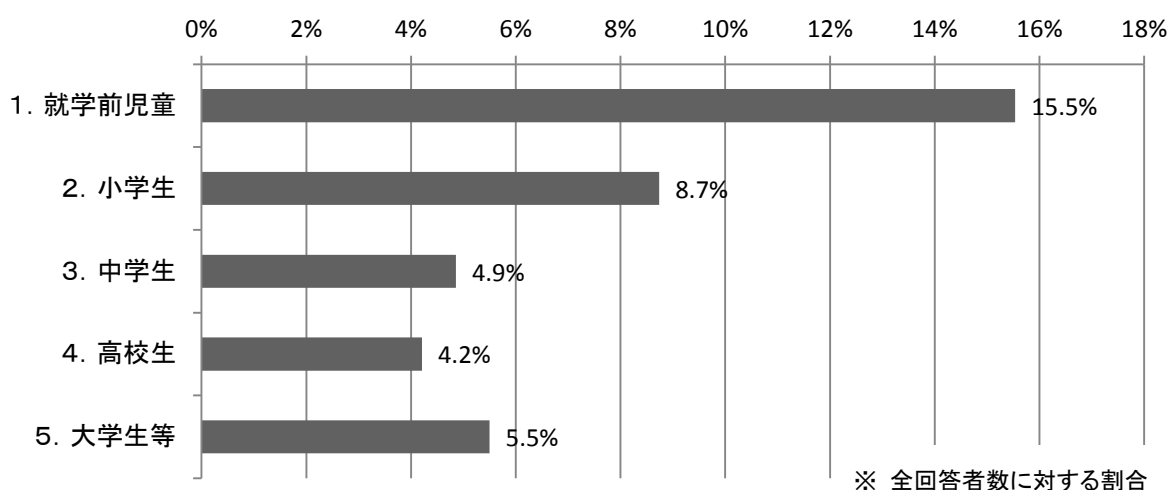
- | | | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 1. 就学前児童 | 2. 小学生 | 3. 中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 大学生等（短大・大学院・高専・専門学校を含む） | | | |

➤ 転入後の世帯に 1～5 のいずれかがいると回答した人は約 3 割（29.4%）である。

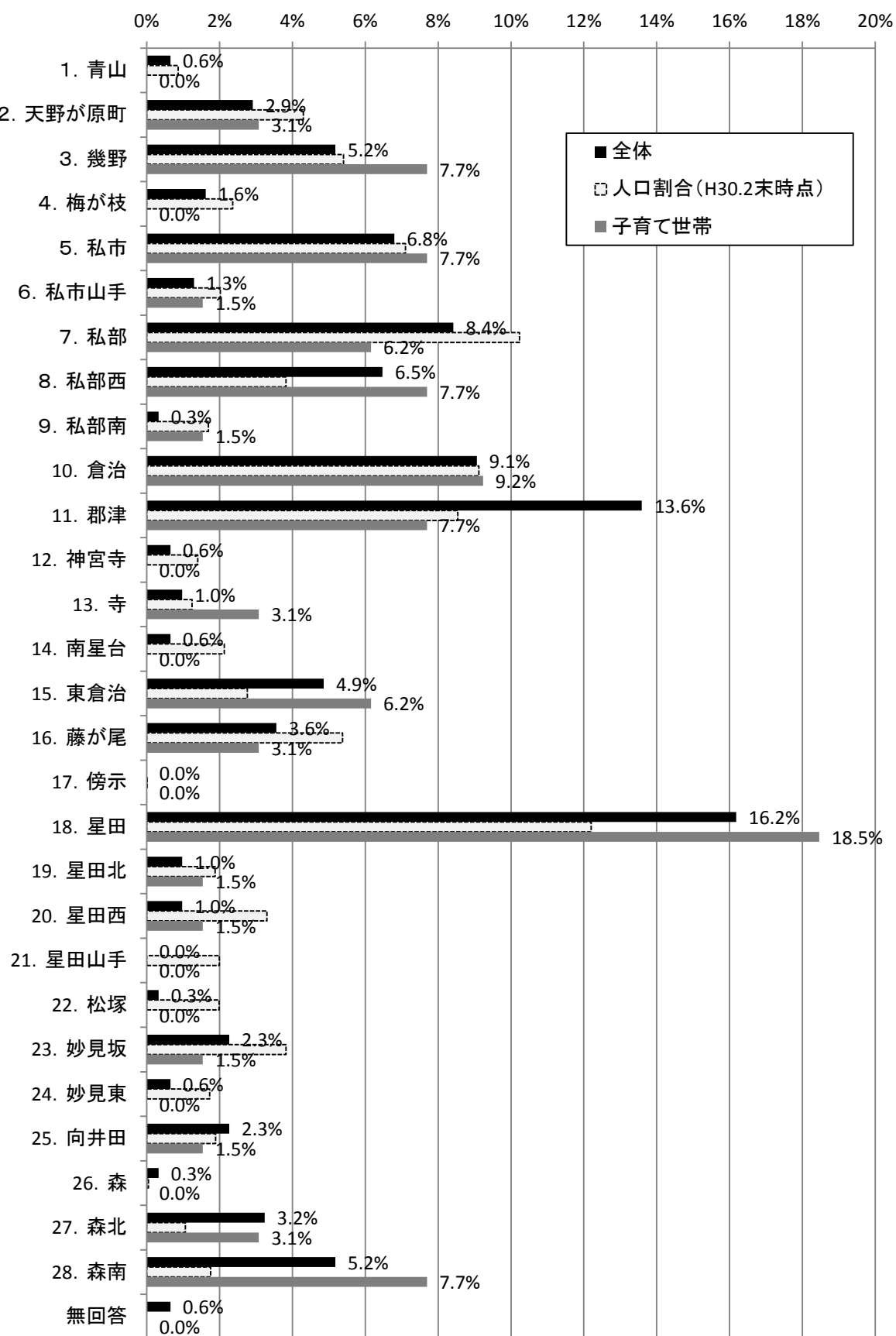


➤ 1～5のうち、就学前児童（15.5%）が最も多く、次いで小学生（8.7%）が多い。

※ ただし、あくまでも回答数の割合であり、転入世帯における 1～5 の人数の割合を示すものではない。

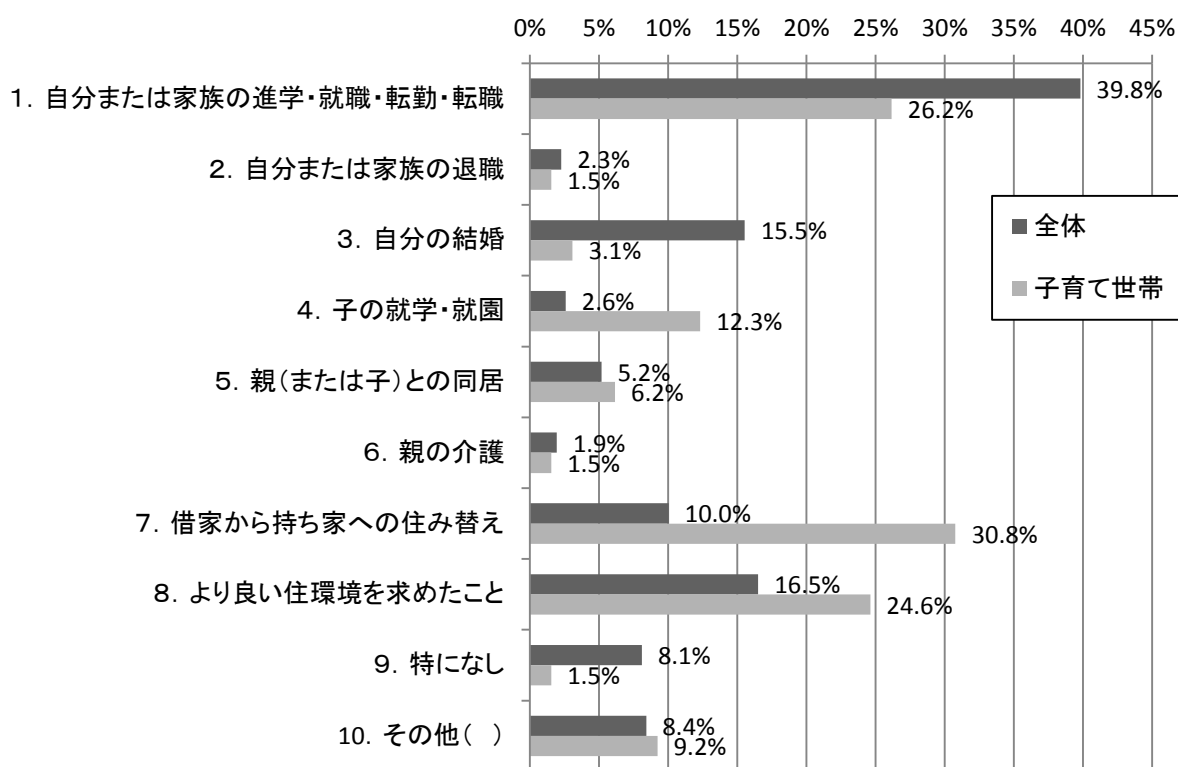


問5. どちらの地区に転入されましたか。



問6. 転入されたきっかけは何ですか。(あてはまるもの全てに○をしてください)

- 転入のきっかけは、「自分または家族の進学・就職・転勤・転職」(39.8%)が最も多く、次いで「より良い環境を求めたこと」(16.5%)、「自分の結婚」(15.5%)が多い。
- 子育て世帯に限ると、「借家から持ち家への住み替え」(30.8%)が最も多く、次いで「自分または家族の進学・就職・転勤・転職」(26.2%)、「より良い環境を求めたこと」(24.6%)、「子の就学・就園」(12.3%)となっている。



※ 回答者数に対する割合

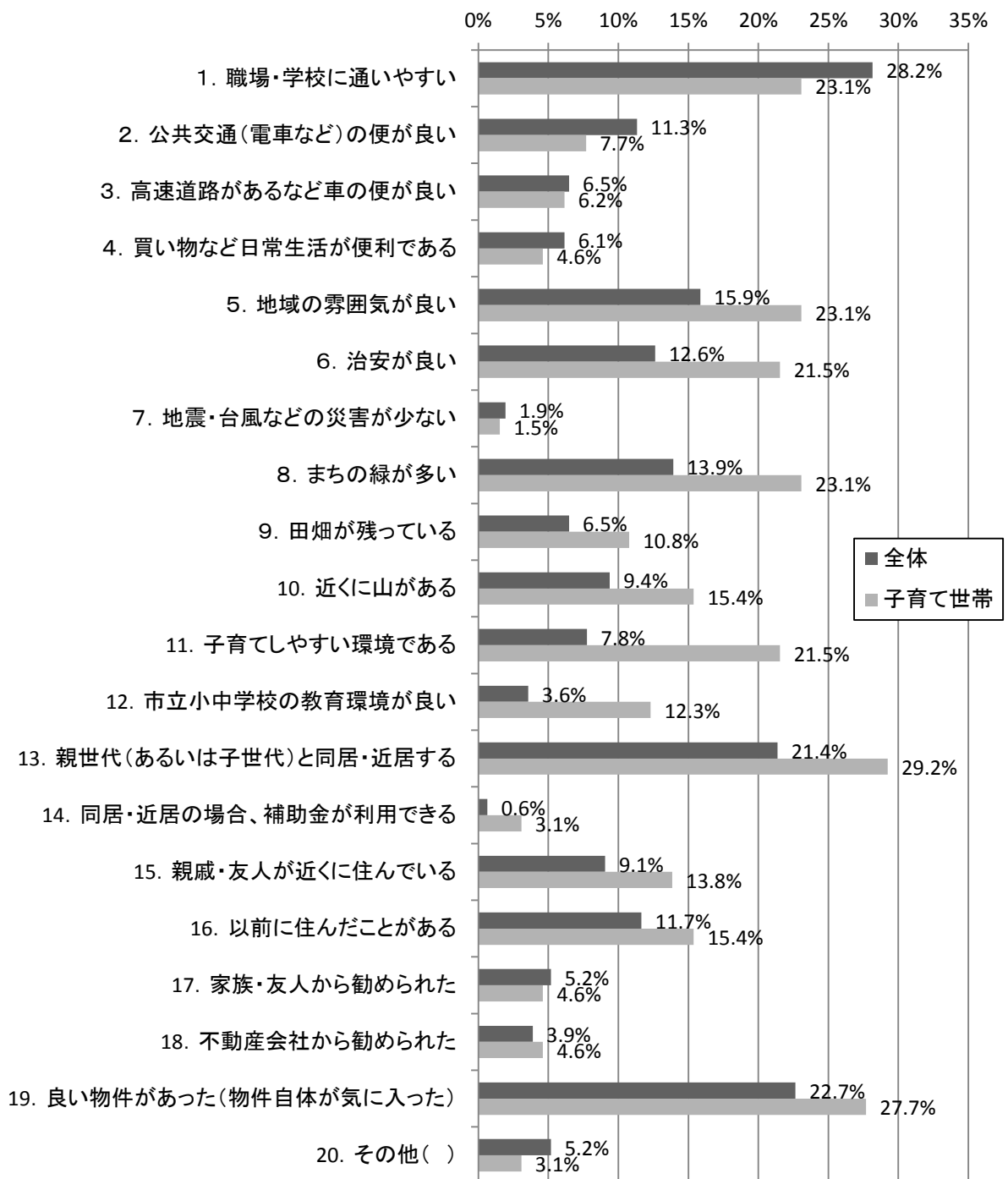
【性別による分類】

		全体		子育て世帯		
		男	女	男	女	
1. 自分または家族の進学・就職・転勤・転職	39.8%	44.6%	35.4%	26.2%	25.9%	26.3%
2. 自分または家族の退職	2.3%	2.0%	2.5%	1.5%	3.7%	0.0%
3. 自分の結婚	15.5%	18.2%	13.0%	3.1%	0.0%	5.3%
4. 子の就学・就園	2.6%	2.0%	3.1%	12.3%	11.1%	13.2%
5. 親(または子)との同居	5.2%	2.7%	7.5%	6.2%	0.0%	10.5%
6. 親の介護	1.9%	2.7%	1.2%	1.5%	3.7%	0.0%
7. 借家から持ち家への住み替え	10.0%	12.2%	8.1%	30.8%	44.4%	21.1%
8. より良い住環境を求めたこと	16.5%	14.9%	18.0%	24.6%	22.2%	26.3%
9. 特になし	8.1%	8.8%	7.5%	1.5%	3.7%	0.0%
10. その他()	8.4%	4.1%	12.4%	9.2%	3.7%	13.2%
回答者数	309	148	161	65	27	38

※ 回答率は回答者数に対する割合

問7. 転居先として交野市を選ばれた理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○をしてください)

- 交野市を選んだ理由は、「職場・学校に通いやすい」(28.2%) が最も多く、次いで「良い物件があった」(22.7%)、「親世代(子世代)と同居・近居する」(21.4%)が多い。
- 子育て世帯に限ると、「親世代(子世代)と同居・近居する」(29.2%) が最も多く、次いで「良い物件があった」(27.7%) が続き。また、「まちなみの緑が多い」(23.1%)、「地域の雰囲気が良い」(23.1%)、なども高い割合である。



※ 回答者数に対する割合

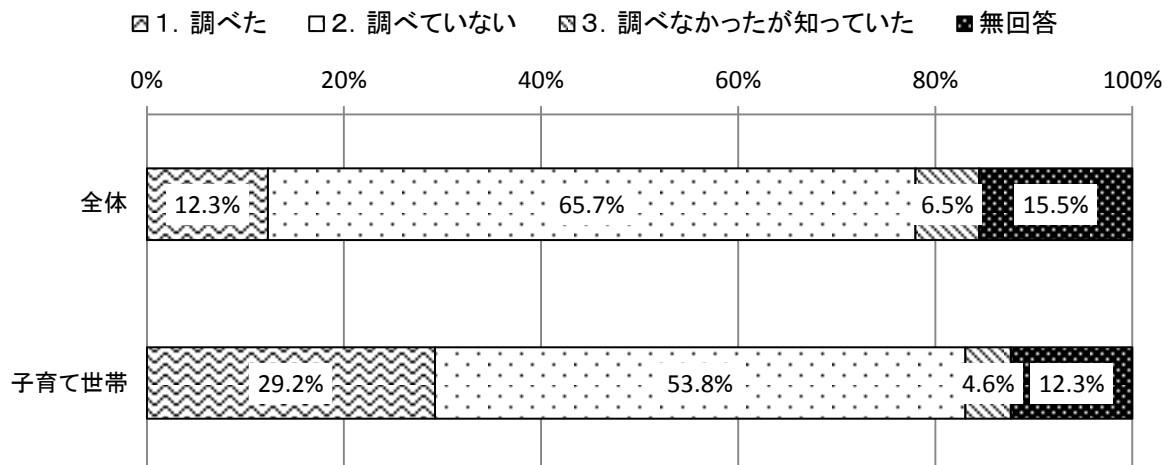
【問 7. 性別による分類】

		全体		子育て世帯		
		男	女	男	女	
1. 職場・学校に通いやすい	28.2%	33.8%	23.0%	23.1%	25.9%	21.1%
2. 公共交通(電車など)の便が良い	11.3%	10.8%	11.8%	7.7%	11.1%	5.3%
3. 高速道路があるなど車の便が良い	6.5%	11.5%	1.9%	6.2%	11.1%	2.6%
4. 買い物など日常生活が便利である	6.1%	6.1%	6.2%	4.6%	7.4%	2.6%
5. 地域の雰囲気が良い	15.9%	17.6%	14.3%	23.1%	33.3%	15.8%
6. 治安が良い	12.6%	15.5%	9.9%	21.5%	33.3%	13.2%
7. 地震・台風などの災害が少ない	1.9%	3.4%	0.6%	1.5%	3.7%	0.0%
8. まちの緑が多い	13.9%	13.5%	14.3%	23.1%	22.2%	23.7%
9. 田畑が残っている	6.5%	4.7%	8.1%	10.8%	7.4%	13.2%
10. 近くに山がある	9.4%	10.8%	8.1%	15.4%	14.8%	15.8%
11. 子育てしやすい環境である	7.8%	11.5%	4.3%	21.5%	40.7%	7.9%
12. 市立小中学校の教育環境が良い	3.6%	5.4%	1.9%	12.3%	18.5%	7.9%
13. 親世代(あるいは子世代)と同居・近居する	21.4%	18.2%	24.2%	29.2%	22.2%	34.2%
14. 同居・近居の場合、補助金可以利用できる	0.6%	0.7%	0.6%	3.1%	3.7%	2.6%
15. 親戚・友人が近くに住んでいる	9.1%	8.1%	9.9%	13.8%	11.1%	15.8%
16. 以前に住んだことがある	11.7%	8.8%	14.3%	15.4%	11.1%	18.4%
17. 家族・友人から勧められた	5.2%	2.7%	7.5%	4.6%	3.7%	5.3%
18. 不動産会社から勧められた	3.9%	4.1%	3.7%	4.6%	3.7%	5.3%
19. 良い物件があった(物件自体が気に入った)	22.7%	27.0%	18.6%	27.7%	40.7%	18.4%
20. その他()	5.2%	6.8%	3.7%	3.1%	3.7%	2.6%
回答者数		309	148	65	27	38

※ 回答率は回答者数に対する割合

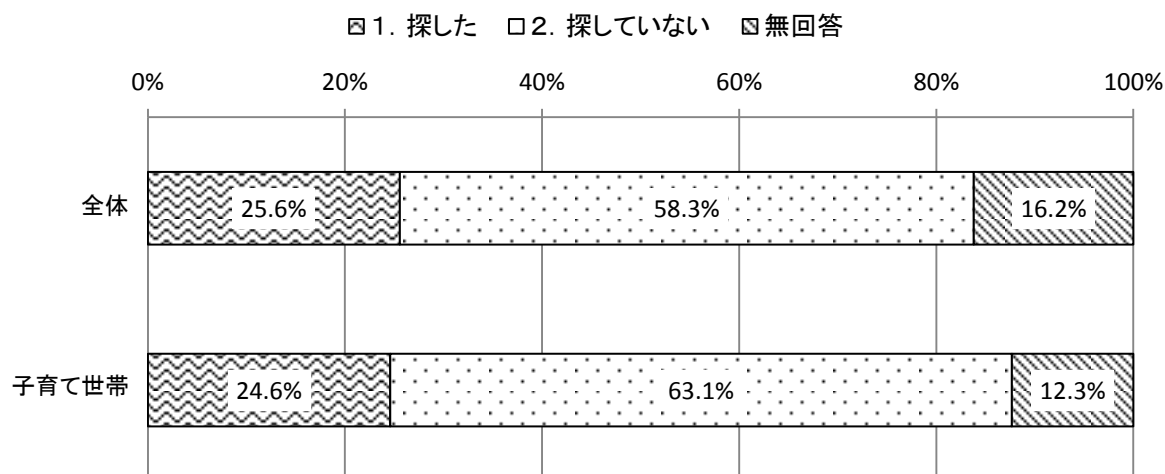
問 8. 転居先を決めるにあたって、交野市の行政サービスを調べられましたか。

- 転居先を決めるにあたって、交野市の行政サービスを調べた人は 12.3%である。
- 子育て世帯に限ると、29.2%である。



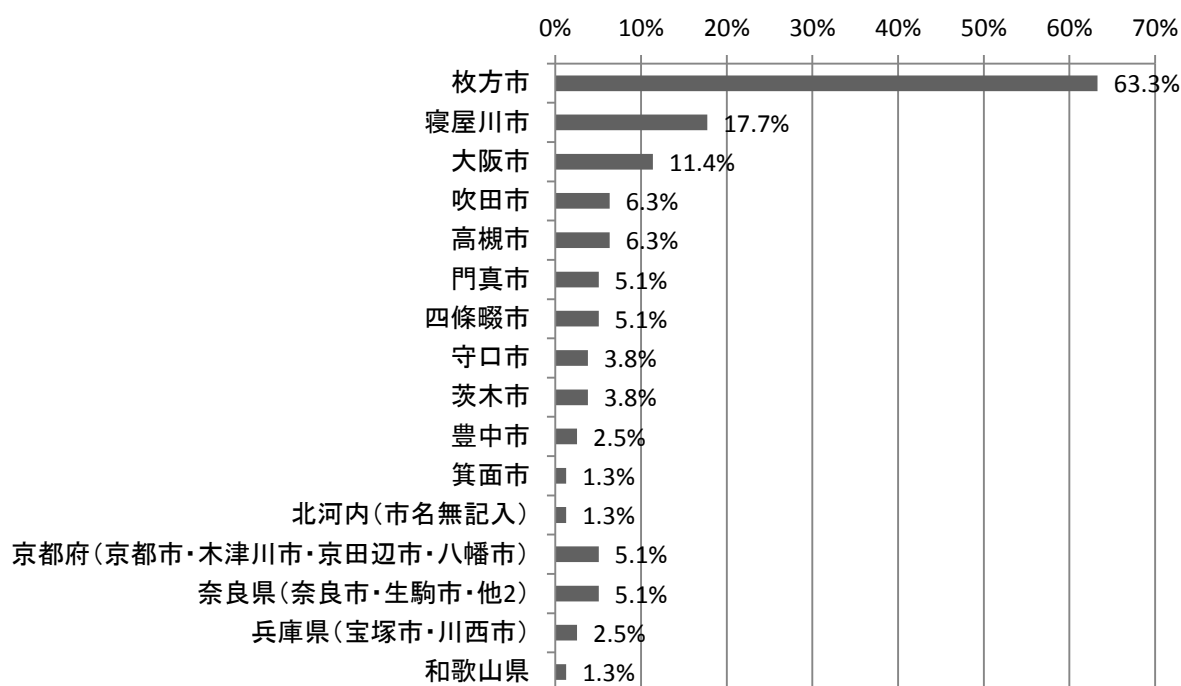
問9. 転居先を決めるにあたって、交野市以外の市区町村（または地域）も探されましたか。

- 「転居先として交野市以外は探していない」と答えた人が半数以上（58.3%）である。この傾向は、子育て世帯でも同様（63.1%）である。



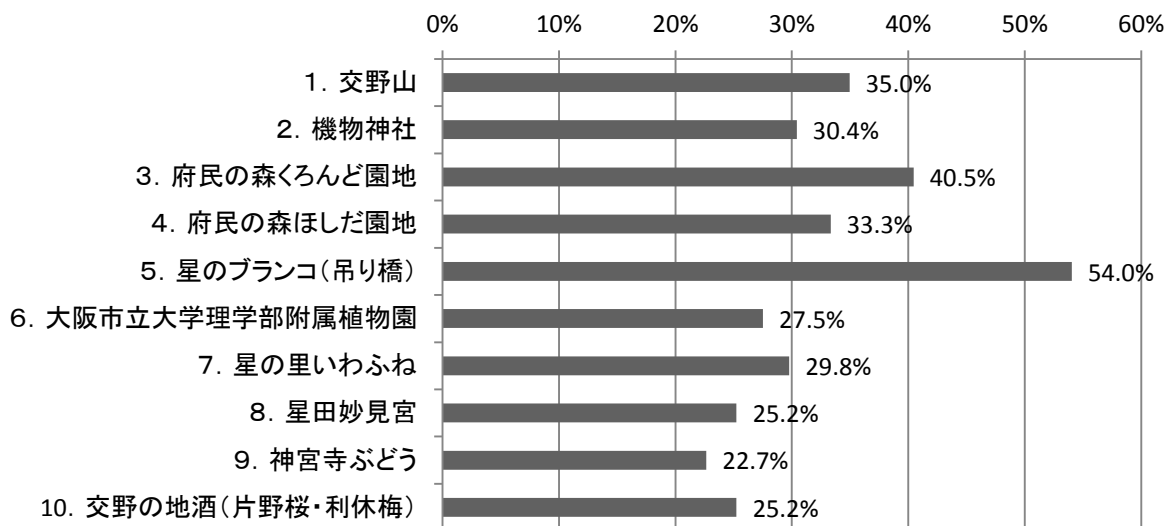
→「1. 探した」と回答された方は、その市区町村（または地域）をご記入ください。

- 「転居先として交野市以外で探した市町村」のトップは枚方市で、6割を占める。



問 10. 交野市内の次の場所等をご存じですか。（ご存じのもの全てに○をしてください）

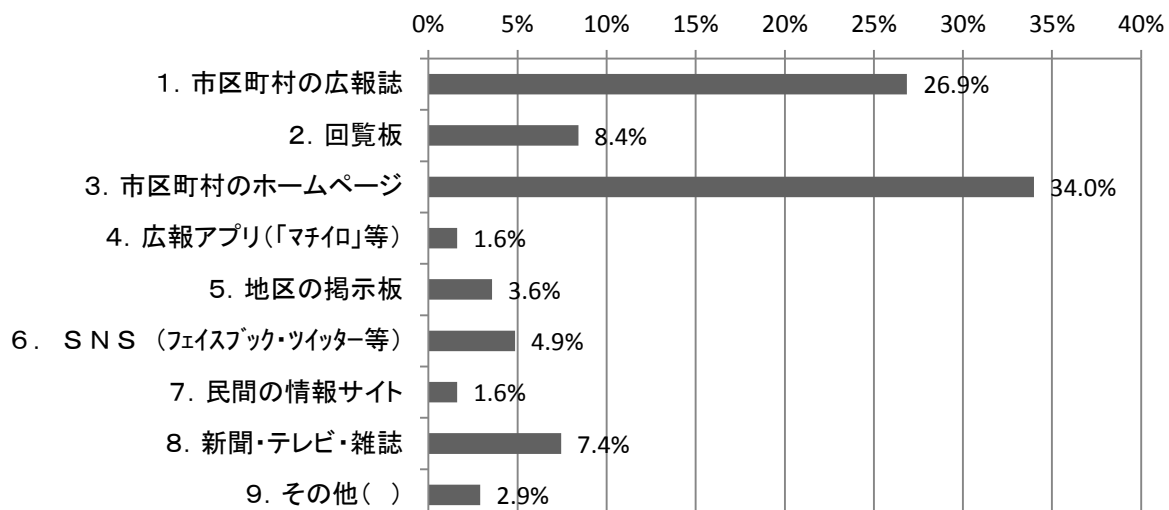
➤ 交野市内の場所として、認知度が1番高かったのは「星のブランコ」である。



※ 回答者数に対する割合

問 11. あなたは普段、何によって市区町村の行政サービスの情報を得ていますか。
（あてはまるもの全てに○をしてください）

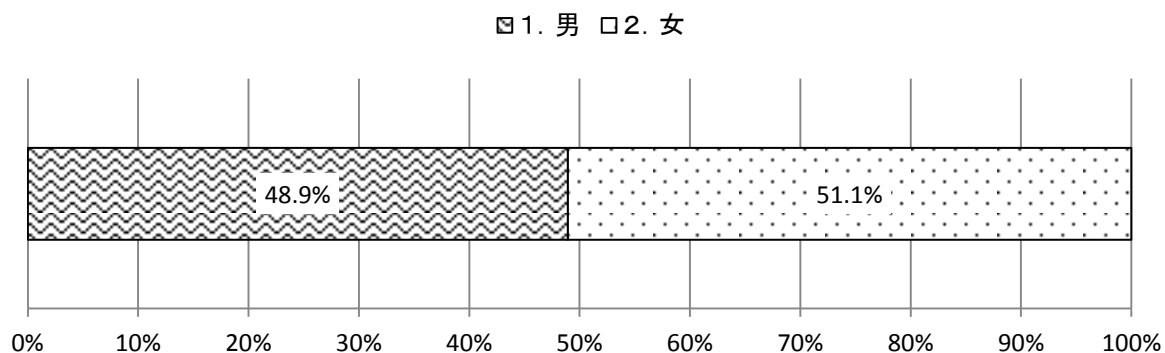
➤ 自治体の情報を得る手段として多かったのは、ホームページ（34.0%）と広報誌（26.9%）で、一方、SNSは4.9%と低い数値である。



※ 回答者数に対する割合

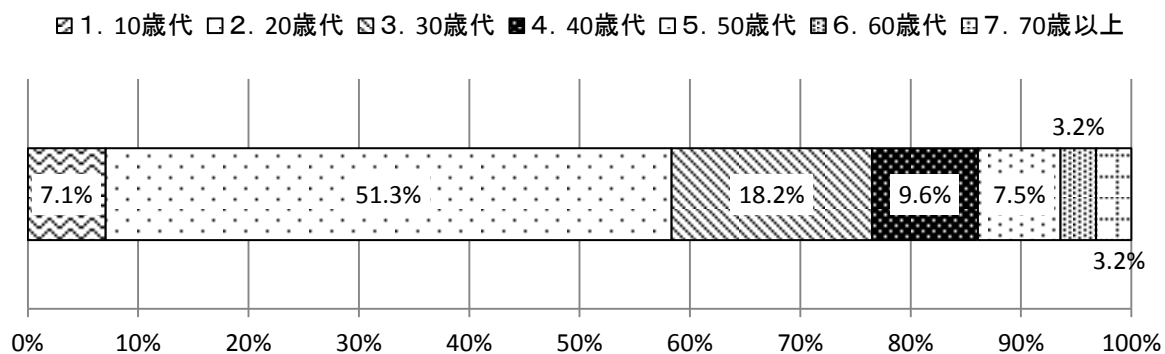
(2) 転出者アンケート

問 1. あなたの性別



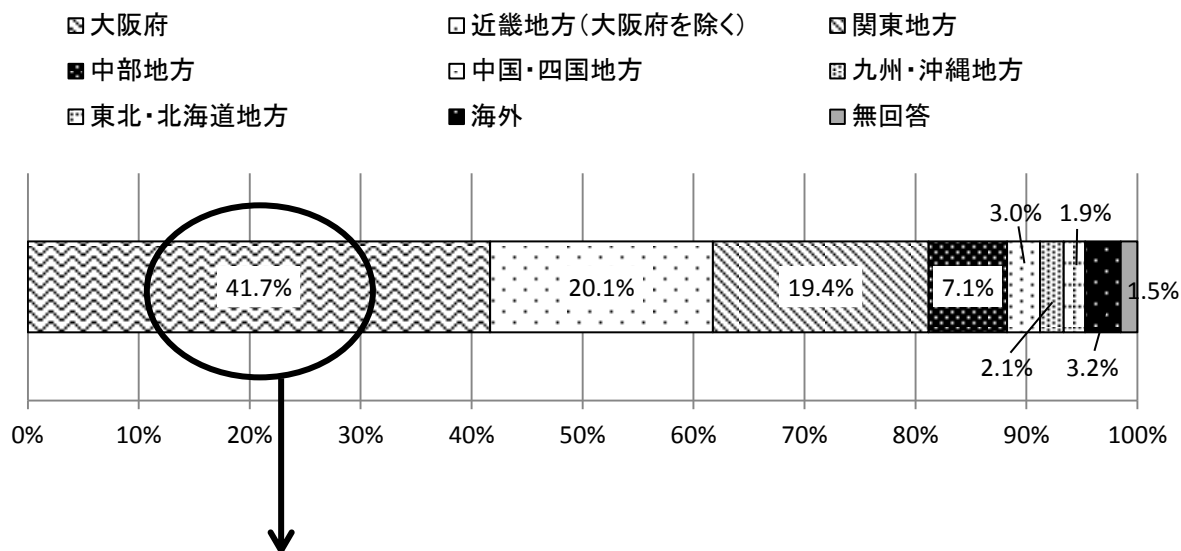
問 2. あなたのご年齢

➤ 年齢は 20 歳代が半数（51.3%）で、次いで 30 歳代（18.2%）が多い。



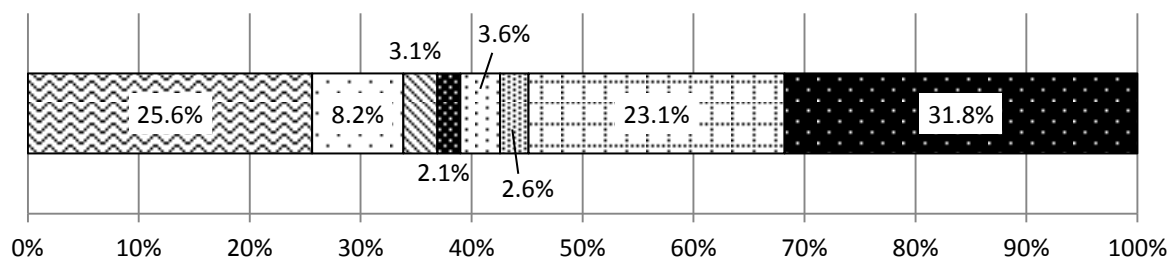
問3. どちらに転出されますか。(市区町村をご記入ください)

➤ 大阪府内への転出が最も多く (41.7%)、次いで近畿地方 (20.1%)、関東地方 (19.4%) が多い。

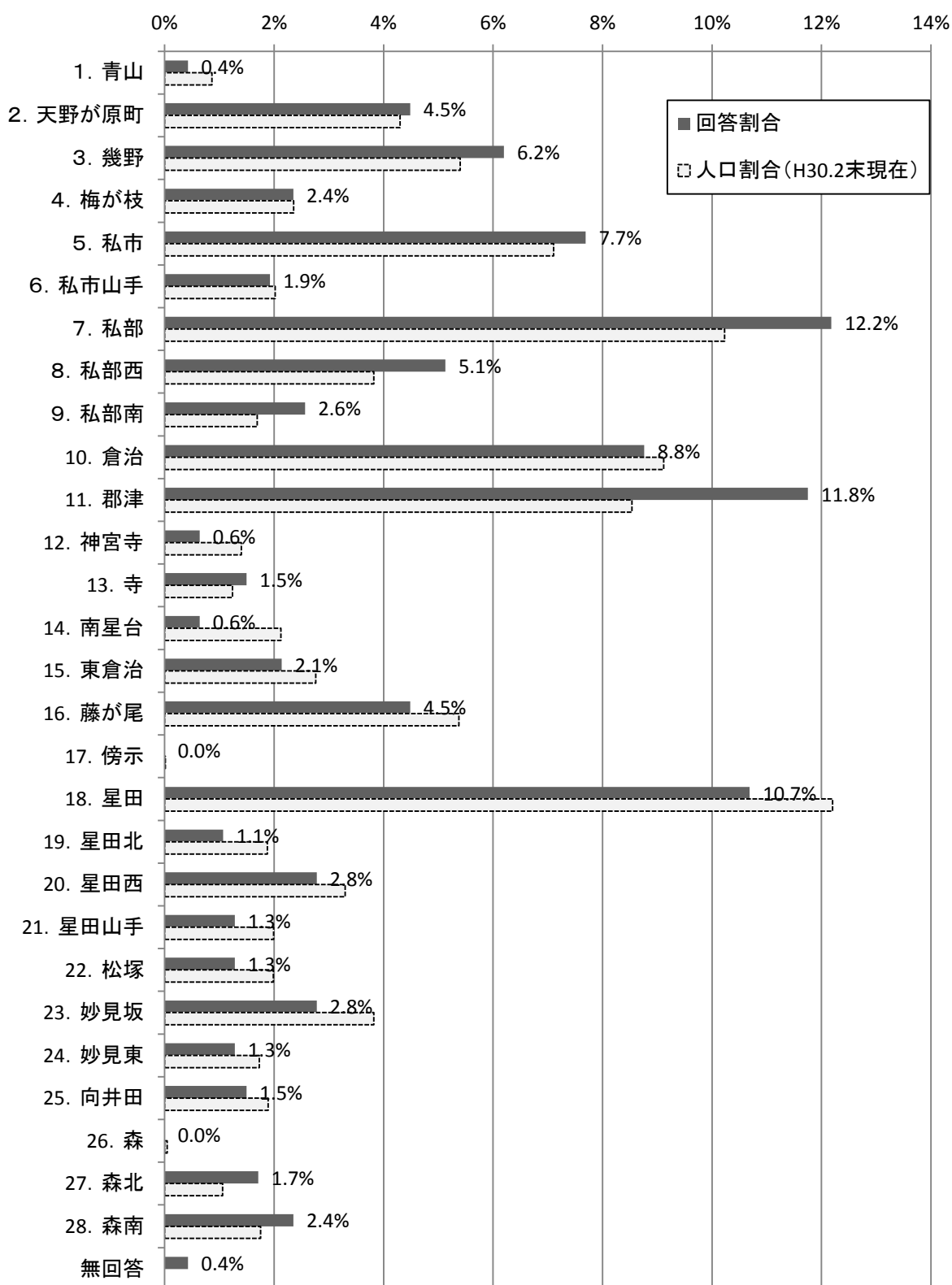


【大阪府の内訳】

枚方市 寝屋川市 守口市 門真市 四條畷市 大東市 大阪市 その他市町村



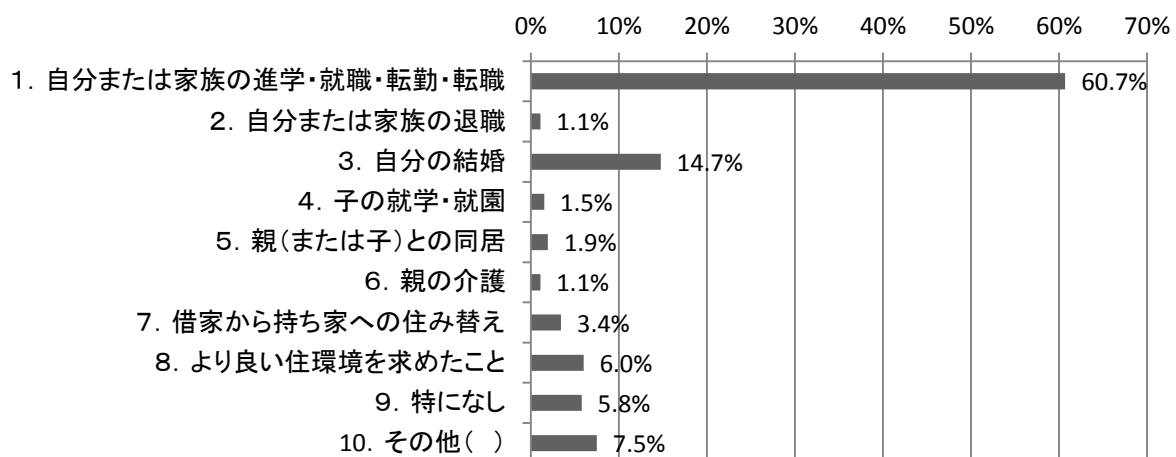
問4. どちらの地区にお住まいでしたか。(複数ある場合は、最後に住んだ地区をお答えください)



問5. 転出されるきっかけは何ですか。(あてはまるもの全てに○をしてください)

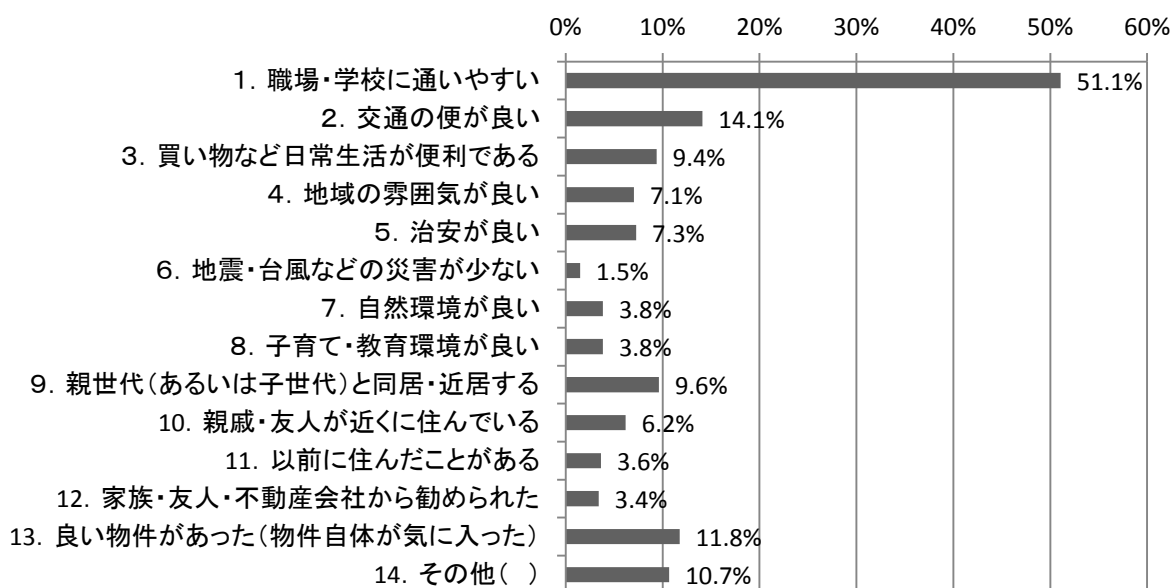
- 転出のきっかけは、「自分または家族の就進学・就職・転勤・転職」(60.7%)が最も多く、次いで「自分の結婚」(14.7%)が多い。

※ 調査時期から、進学や就職、転職等に伴う転出が顕著となっている。



問6. 転出先の市区町村を選ばれた理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○をしてください)

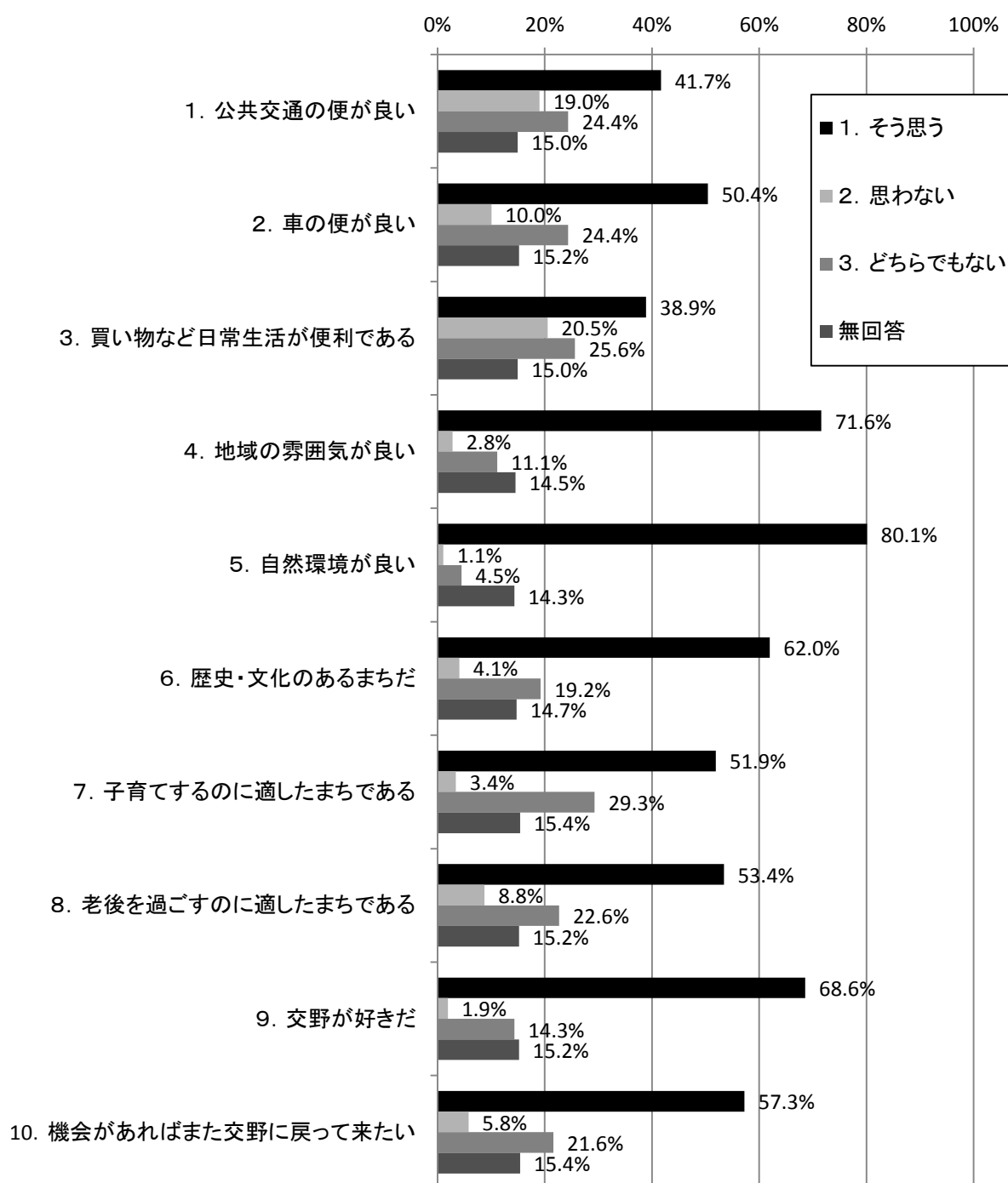
- 転出先を選んだ理由は、「職場・学校に通いやすい」(51.1%)が最も多く、次いで「交通の便が良い」(14.1%)、「良い物件があった」(21.4%)が多い。



※ 回答者数に対する割合

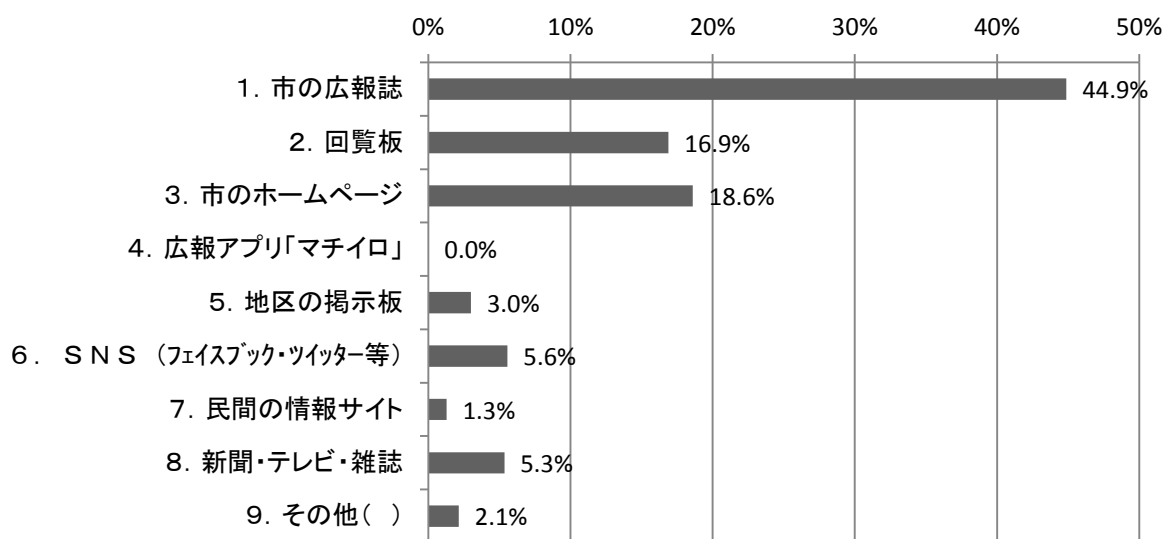
問 7. 交野市について、あなたのご感想をお教えてください。(あてはまる番号に○をしてください)

- 「自然環境が良い」と回答した人は 80.1%で、10 項目の中で最も高い数値である。
- 「地域の雰囲気が良い」(71.6%)、「交野が好きだ」(68.6%)、「歴史・文化のあるまちだ」(62.0%)、「機会があればまた交野に戻って来たい」(57.3%) も高数値である。
- 「子育てするのに適したまちである」は、5 割 (51.9%) がそう思うと回答したが、一方で 3 割 (29.3%) はそう思わないと回答した。



問 8. あなたは普段、何によって交野市の行政サービスの情報を得ていましたか。
(あてはまるもの全てに○をしてください)

- 交野市の情報を得る手段は、広報誌が最も多く（44.9%）、次いでホームページ（18.6%）、回覧板（16.9%）が多い。
- SNSは 5.6%であるが、交野市の公式SNSは現在なく、民間のSNSを指していると思われる。



※ 回答者数に対する割合

問 9. その他、交野市に対するご意見・ご提案がありましたらお書きください。

意見	性別	年齢
・ 公共施設のネーミングセンスがずっと気になっていました。 ・ そろそろ市役所を新しくしてはいかがでしょうか？年季がもう…	男性	30 歳代
・ もう少し駅の周辺に買い物ができる所がほしいです。 ・ 子供が遊べる場所等。	女性	30 歳代
・ 私の住んでいる私部は、住むには静かですが、高齢者が多く住んでいます。買い物する所はイズミヤまで行かないといけないので大変です。他にもありますけど…。高齢者がより住みやすい環境にしてほしい。	女性	40 歳代
・ 家の前の道（郡津東の交差点から北へ延びる道）が子供の通学にはあぶないので、歩道をつくってほしい。	男性	30 歳代
・ ショッピングモールや大きい公園等を増やせば人々は喜ぶと思う。	男性	10 歳代

意見	性別	年齢
・商業施設の充実をはかってほしいです。	女性	20 歳代
・子育てを楽しんですることができました。	女性	20 歳代
・保育園の延長保育代を見直してほしい。他府県に比べて高い。	女性	30 歳代
・道が狭い。	男性	20 歳代
・月 1 回でもよいので土日の窓口業務があれば大変助かります。	女性	20 歳代
・大好きな育った町なので帰ってきたい願望が強いです。 ・仕事柄交通の便が悪いのと、仕事帰りにスーパーが開いてないのが、個人的に不便でした。	女性	40 歳代
・大変住み良い街でした。	男性	70 歳代
・小学生から 12 年間ほど過ごさせていただきました。大変住み心地良く、人も街も大好きです。またいつか戻ってこれたらと本当に思います。ありがとうございました。	女性	20 歳代
・市民サービスがどうか？大阪市の方が良いと思う。 ・市民税が高い。	男性	40 歳代
・高校生全学年の医療費補助をしてほしい。	女性	50 歳代
・若い人への住宅手当等があれば、ありがたいと思います。	男性	30 歳代
・今ある自然を大切にしてほしい。それがあれば魅力的な市であると思っています。	女性	50 歳代
・交野から離れたくないですが、転勤のため引っ越します。また、いつか戻ってきます。	男性	20 歳代
・今までありがとうございました。新天地でも頑張りたいと思います。	男性	20 歳代
・今の交野がずっと残っていてほしい。	男性	20 歳代
・幾野図書館の再建	男性	20 歳代
・自然の多い、環境の良い所だと思います。	男性	20 歳代
・道が暗いので電灯を明るくしてほしい（安全面でも景観面でも）。	女性	40 歳代
・ゴミ回収におけるカン・ビンは月 2 回お願いしたい。 ・道が曲りくねって細かったり広がったりしてややこしい。 ・駅前の裏側がゴチャゴチャしている。	男性	60 歳代
・回覧板は不要。・交通の便が悪い。車がないと生きていけない。	女性	10 歳代
・交野市はとてもすばらしいまちだと思うので、他府県にもっともっと発信して欲しい。	女性	10 歳代
・自然と触れ合う機会が多く、楽しい子ども時代を過ごせました。	女性	20 歳代
・京阪バスの星田地区の改編により、住むのに全く不便になってしまった。通勤困難となってしまった。市バスでもミニバスでも山々地域をめぐる交通を作るべき。若い世帯は住めない。（特に親とは住めなくなる。）	男性	50 歳代
・交野市役所職員の対応はいつも親切で大変助かっていた。	男性	70 歳代

意見	性別	年齢
・スーパーが少ないので増やした方がよいかと思います。	男性	20 歳代
・ゴミの TEL がつながりにくい。	男性	50 歳代
・人も良く、住みやすい町でした。23 年間お世話になりました。	男性	20 歳代
・ステキなところです。	女性	20 歳代
・街灯が少なく暗いので怖い。	女性	20 歳代
・好きです！	女性	20 歳代
・土日でも住民票を出せるようにしてほしいです。	男性	20 歳代
・野焼きをやめてほしい。	男性	30 歳代
・治安や人が悪すぎる。昔よりかなり変わった。	男性	40 歳代
・児童公園が少ないと思います。	女性	50 歳代
・バスの便も減って通勤に不便である。夜遅くなることもあるが通うのが難しい。若者も住みやすいように考えてほしい。	女性	50 歳代
とても住み易かったですが、缶やびんの回収が月に 1 度しかないのが不便でした。毎週、せめて隔週だと良かったです。	女性	20 歳代
・当市での下水溝の泥あげはしておられますか。	男性	60 歳代
・市民税をもう少し下げてください	男性	30 歳代
・お世話になりました。（9. 交野市が好きだ。→0. めっちゃ思う）	男性	20 歳代
・住みやすくのどかな所ですが知名度がもっとあっても良いと思います。 ・役所の方々の対応が今まで住んだ中で最も良かったです。	男性	30 歳代
・交野市が大好きなのでまた戻ってきたいです。	男性	30 歳代
・交野市が大好きなので離れるのはとても淋しいです。できれば結婚しても交野に住みたかったです。実家があるし友達も多いのでまた戻ってきたいと思います。このままの交野市であってほしいです。	女性	40 歳代
・田んぼが減ってきてさみしい。	男性	20 歳代
・生まれ育って大好きな交野市にまた戻ってきたいと思っています。 ・充実した福祉行政を今後も期待しております。	女性	30 歳代
・子育てにはとても良い所でした。 ・学童保育の先生に本当にお世話になりました（吉田先生、田中先生）。ここで子供達は基礎を作ってもらったと思っています。	女性	50 歳代
・特にありません。お世話になりました。	女性	30 歳代
・公園や本を読むところがもっとあってもいいし、内容が充実してもいいと思います。 ・ホームページが見やすくなった。	女性	30 歳代
・ツタヤ、映画館があったらうれしい。カラオケも。	女性	20 歳代

5. 結果から見える傾向

(1) 転入者

- 就職・転勤等に伴う転入が多いが、結婚やより良い住環境を求めての転入も多い。
- 子育て世帯の約3割は、借家から持ち家への住み替えをきっかけに転入しており、長く住む場所として交野市を選んでいることが見て取れる。
- 職場・学校に通いやすいことが、転入者が交野市を選んだ理由として最大である。(この傾向は、他市の転入者アンケートでも同様である。)
- 良い物件があったことも、通勤・通学の利便性に次いで大きい理由である。(住宅開発が多いことと連動していると思われる。)
- 親世代(子世代)と同居・近居するために、また親戚や友人が近くに住んでいることから、交野市に転入したという人も多い。
- 地域の雰囲気や治安、まちの緑、近くに山があることなども転入者が交野市を選んだ理由として比較的高いポイントを得ており、交野市の土地柄・自然環境に魅力を感じて転入する人が多いことが見て取れる。
 - 特に子育て世帯においては、土地柄・自然環境のポイントが高い。
- 子育て世帯においては、子育てしやすい環境であることも、土地柄・自然環境に並んで、選んだ理由の上位である。
- 以前に住んだことがあることも、交野市を選んだ理由として小さくない。(転出者アンケートで、「交野が好き」「機会があればまた交野に戻って来たい」という人の割合が高いことと合わせて考えると、進学や就職で一度交野を離れても、交野に愛着を持ち続け、再び交野に戻ってくる人は多いのではないか。)
- 行政サービスの内容を、転居先を決める参考としている人は少ない。
- 行政情報を得る手段として、SNSはあまり利用されていない。

（２）転出者

- 進学、就職、転勤に伴い転出する人が多い。
- 関東地方への転出が約２割であり、東京圏への人口流出が見られる。（もっとも、進学、就職等による単独の転出（一部転出）であり、親世帯は交野に留まっているケースも多いと考えられる。）
- 転出先の市区町村を選んだ理由として、買い物など日常生活が便利なのが土地柄・自然環境より上位であり、転入者とは逆の傾向である。
- 親世代（子世代）と同居・近居するために、また親戚や友人が近くに住んでいることから、その市区町村を選んだという人も一定数いる。これは転入者・転出者に共通する傾向である。
- 交野についての感想では、「自然環境が良い」が高いポイントを得ており、次いで「地域の雰囲気が良い」のポイントが大きい。また、自由記述欄でも、自然環境の良さを評価する意見が多い。これらのことから、市民も交野市の土地柄・自然環境を高く評価していることがわかる。
- 「交野が好きだ」という人が７割弱、「機会があれば交野に戻って来たい」人が６割弱いることから、交野に愛着を持っている市民は多いと考えられる。自由記述欄でも、交野が好きだ、離れたくない、戻ってきたいという意見が見られる。
- 行政情報を得る手段としては、広報誌が最もよく利用されており、一方、広報アプリ「まちいろ」は全く利用されていない。理由は不明だが、いずれにしろ、有効な情報発信手段とはなっていない状況である。ホームページも、転入者に比べると利用率が低い。